

日本選挙学会 2005 年度第 2 回理事会

於 東京大学法文二号館教員談話室

出席者 池田理事長、岩崎、岩淵、大山、河崎、桑原、河野、神江、小林、山田、和田理事、安野事務局長、今井、小林、堤幹事

1 各委員会の活動状況について

①企画委員会

河野委員長から別紙資料に基づき、現時点における 2006 年大会の企画について説明があり、12 月の理事会に最終案を報告、企画決定の予定であるとの報告があった。この中で、これまでのタイムスケジュールだと、午前の分科会終了から午後の分科会開始まで 2 時間が空いており、これが総会や午後の分科会での出席者減と関係があるのではないか、との指摘があり、理事会および総会の開催時間を変更することが提案された。開催校や事務局の対応に関して議論がなされ、初日の朝は受付等で開催校が多忙であり理事会を開催することは難しいこと、事務局としては理事会での議論を総会で配布する資料に反映させる必要があることから、理事会と総会の間に一定の時間がある方が望ましいといった意見が出された。以上を受けて、初日は理事会を昼休みに、総会を共通論題終了後に開催すること、二日目は午前の分科会開始前に理事会を、午前の分科会終了後に総会を開催することとなった。

引き続き河野委員長から、ポスターセッションに 3 件の応募があったこと、また共通論題をシンポジウム形式で開催する予定であることが報告された。ポスターセッションについては、多くの会員に報告してもらうため、(分科会タイトルを付けて)分科会の一つとして扱うこととした上で追加募集を行うことが提案され、了承された。なお、追加募集は 12 月のニューズレターならびに電子メールで周知することとなった。

この後、河野委員長が、2006 年大会を 25 周年記念大会とすることについて各理事に意見を求めたが、記念大会とすることで大会の性格全体を再考する必要があるとの指摘があり、通常の大会として開催されることとなった。

小林理事から、近年、会員数が増えていないことから、ほとんど会員のいない選挙管理委員会関係者の入会を促すことが提案された。具体的な方策として、国政部会をいずれかの明るい選挙推進協議会と共催とし、選挙管理委員会関係者を招いたシンポジウム形式とする案が示された。池田理事長からは、一般に開放されたセッションとする可能性についても言及があったが、岩淵理事から独立した企画として開催する方が望ましいとの意見も出された。以上を受けて、開催方法も含め、企画委員会で検討していくこととなった。

②年報編集委員会

岩淵委員長から年報 21 号について、7 本の依頼論文から成る特集「政治意識の諸相」および 1 本の投稿論文 (2 名が掲載可となったが 1 名は辞退) から構成されること、木鐸社と綿密に連絡をとりながら 2006 年 2 月末発行を目指していることが報告された。また、

紀要5号について、4本の投稿があり全てが掲載可となったこと、前号に対して応募された1本が修正が遅れたため5号へと回ったことなどが報告された。その際、投稿本数は頭打ちであり、原稿のリクルート源を確保する必要があるのではないかとの問題提起がなされた。

なお、年報の出版助成に関する科研費の申請は、採択された場合の受け取りも含め、理事長の引き継ぎまで今井幹事が担当することとなった。

③文献委員会

山田委員長から、昨年と同様の方法で作業を行い、紀要に掲載する予定であることが報告された。この中で、現在、WEB上ではワードのフォーマットを用意しているが、エクセルを用いるとデータハンドリング、データの引き継ぎが容易であることから、エクセルによるフォーマットを試作中であることが報告された。

これに対し、桑原前文献委員長から、従前からエクセルも利用していたが、印刷原稿とする際、文献委員会で手を入れる必要があるとの指摘があった。

④選挙管理委員会

まず池田理事長から、年齢調査、選挙権の有無のチェック、異議申し立てを経て9/25に選挙区の区分が確定し、大山選挙管理委員長に引き渡された旨、説明があった。続いて大山委員長から、10/4に投票用紙を発送したこと、選挙区は生年が1958年までの144名と、1959年以降である146名に区分されたことなど、作業の過程について説明があった。

2 2005年度総会・研究会の総括について

梅川大会運営委員長欠席のため、資料が配布された

3 2006年度総会・研究会の開催について

河崎大会運営委員長から、研究会を開催する教室を仮予約しているが、最終決定は年度末になること、懇親会は上智大学の施設で開催する予定であるが、(使用の可否は年度末に決定されるため)学内の施設が使用できない場合は四谷駅周辺で開催予定であることなどが報告された。

4 2008年度総会・研究会の開催について

池田理事長から、2007年大会を伊藤光利会員を運営委員長として神戸大学で開催することとなっているが、2008年については西澤由隆会員を運営委員長として同志社大学で開催することが提案された。併せて、西澤会員からは内諾を得ていることも報告された。これに対し、地方開催が続くと多くの会員が重複加入している政治学会と地方開催が重なってしまうこと、大学院生の負担が大きいことなどから、東京一地方の交代開催の原則を尊重すべきとの意見が出された。これを受け、2008年大会については差し当たり保留とされた。

5 韓国選挙学会への会員派遣について